

議題 5

広島市指定重要文化財の指定について

- | | | |
|---|------------------------------|----|
| 1 | 広島市指定重要文化財の指定について（議案第 1 5 号） | 26 |
| 2 | 広島市指定重要文化財の指定について（議案第 1 6 号） | 29 |
| 3 | 広島市指定重要文化財の指定について（議案第 1 7 号） | 33 |
| 4 | 広島市指定重要文化財の指定について（議案第 1 8 号） | 36 |

議案第15号

令和7年3月27日提出

広島市指定重要文化財の指定について

このことについて、別紙の物件を文化財に指定する。

文化財指定候補概要

指定区分	広島市指定重要有形文化財（建造物）
名 称	ふくおうじにおうもん 福王寺仁王門
所在地	広島市安佐北区可部町綾ヶ谷 2 5 1
所有者	氏名 宗教法人福王寺 住所 広島市安佐北区可部町綾ヶ谷 2 5 1
員 数	1 棟
概 要	桁 行 約 6.98 m（三間） 梁 間 約 4.05 m（二間） 建築様式 三間一戸楼門、入母屋造、銅板葺 推定建築年代 江戸時代中期
文化財的価値について	広島県内に現存する楼門の多くが、江戸時代以前または幕末に建築されたものである中、この仁王門は、当時、楼門建築が強く規制されていた江戸時代に建築された稀有な存在であることから、貴重な建造物である。



福王寺仁王門（正面）



福王寺仁王門（背面）

議案第16号

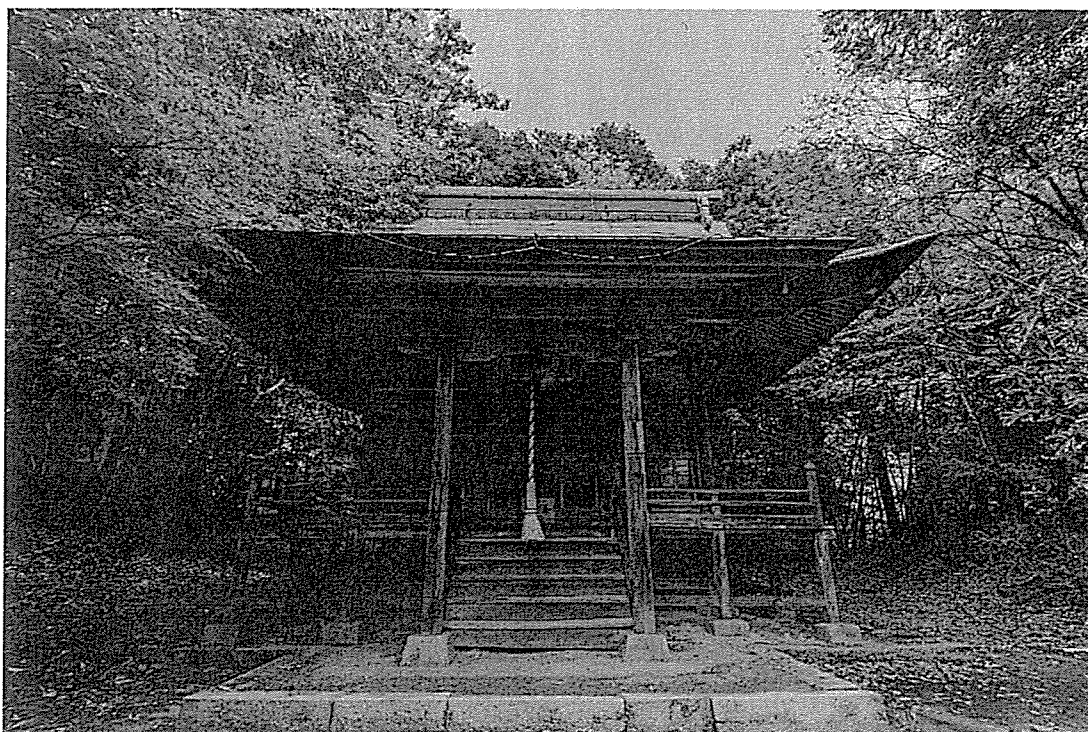
令和7年3月27日提出

広島市指定重要文化財の指定について

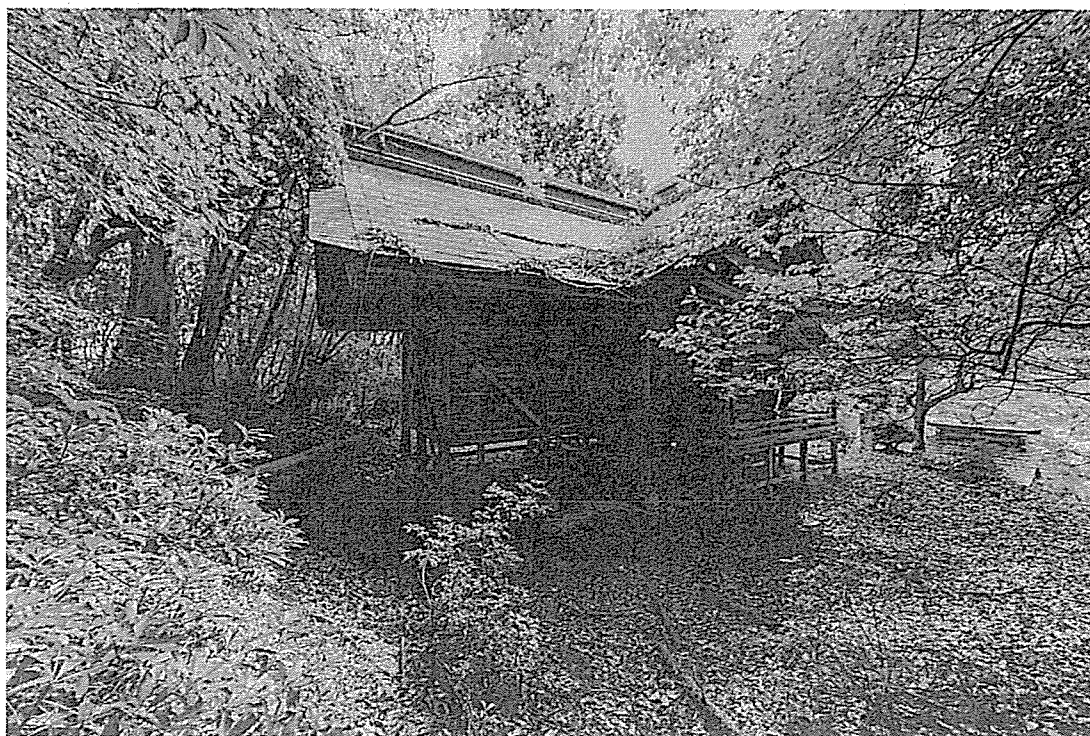
このことについて、別紙の物件を文化財に指定する。

文化財指定候補概要

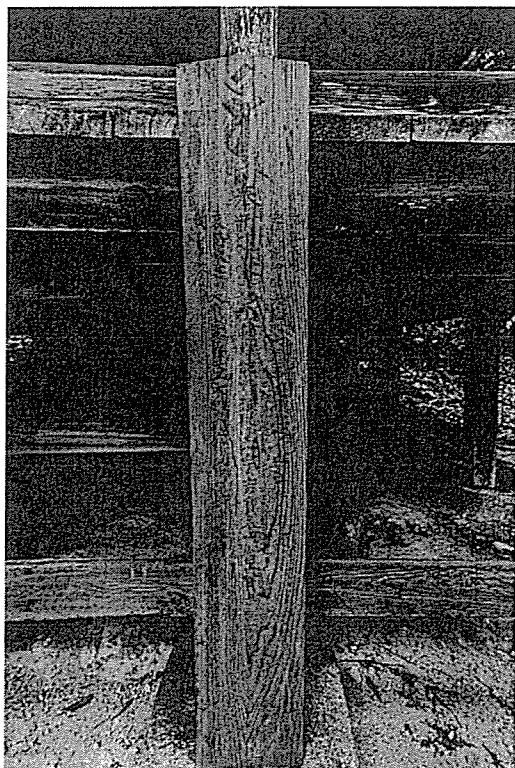
指定区分	広島市指定重要有形文化財（建造物）
名 称	ふくおうじくまの ごんげんしゃ 福王寺熊野権現社 つけたり 附 むなふだ 棟札
所在地	広島市安佐北区可部町綾ヶ谷 2 5 1
所有者	氏名 宗教法人福王寺 住所 広島市安佐北区可部町綾ヶ谷 2 5 1
員 数	1 棟（棟札 1 枚）
概 要	拝殿の後方に本殿を接続した、凸字型の平面をとる。 拝殿 桁 行 約 4. 6 3 m（三間） 梁 間 約 3. 1 9 m（二間） 建築様式 入母屋造、向拝一間、銅板葺 推定建築年代 江戸時代中期 本殿 正 面 約 3. 2 4 m（一間） 側 面 約 3. 5 6 m（二間） 建築様式 切妻造、妻入、銅板葺 推定建築年代 江戸時代末期
文化財的価値について	広島市内に同時代の社寺建築は少なく、神仏分離によって破却されることなく残った寺院の権現社として極めて貴重であり、棟札によって建築年代や関わった大工などが明らかであることも含めて、貴重な建造物である。



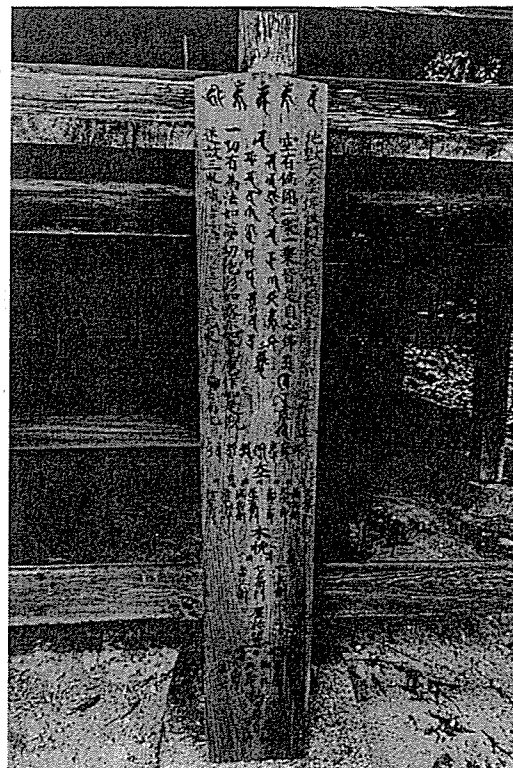
福王寺熊野権現社（拝殿）



福王寺熊野権現社（本殿）



福王寺熊野権現社（附）棟札（表面）



福王寺熊野権現社（附）棟札（裏面）

議案第17号

令和7年3月27日提出

広島市指定重要文化財の指定について

このことについて、別紙の物件を文化財に指定する。

文化財指定候補概要

指定区分	広島市指定重要有形文化財（彫刻）
名 称	もくぞう あ み だ によらいりゅうぞう 木造阿弥陀如来立 像
所在地	広島市中区土橋町 2 番 4 号
所有者	氏名 宗教法人浄國寺 住所 広島市中区土橋町 2 番 4 号
員 数	1 躯
概 要	ヒノキ材。彫眼。一木割剥ぎ造（正中剥ぎ）。漆箔仕上げ。 像高 96.3cm（総高 147.6cm） 時代 平安時代後期（12世紀）
文化財的価値について	本像は、衣文や面貌の表現、体躯のバランスなどから考察するに、平安後期の作と判じられ、両手首先などに後補が認められるものの、像全体のバランスを崩すものではなく、保存状態も極めて良好な優品である。



木造阿弥陀如来立像

議案第18号

令和7年3月27日提出

広島市指定重要文化財の指定について

このことについて、別紙の物件を文化財に指定する。

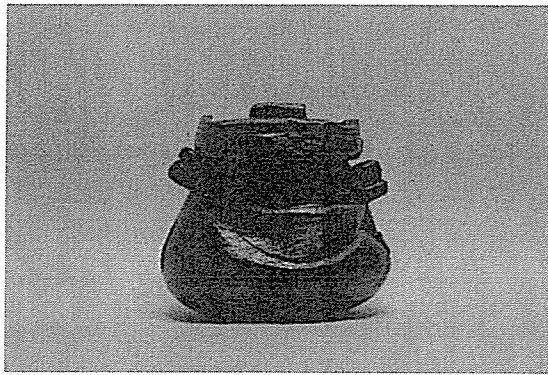
文化財指定候補概要

指定区分	広島市指定重要有形文化財（歴史資料）
名 称	きどううえだそうこうりゅうかんけいしりょう 茶道上田宗簡流関係資料
所在地	広島市西区古江東町２番１０号
所有者	氏名 公益財団法人上田流和風堂 住所 広島市西区古江東町２番１０号 氏名 宗教法人浅方社 住所 広島市西区古江東町２番１０号
員 数	８２点 （絵画２０点、陶磁器１０点、染織４点、漆工３点、 金工１０点、木竹工１２点、書跡６点、古文書５点、 石造物８点、その他茶道具４点）
概 要	茶道上田宗簡流関係資料は、桃山時代から江戸時代初期の武将茶人である上田宗簡（１５６３～１６５０）が開いた茶道上田宗簡流を、流祖宗簡から広島藩浅野家の家老職を代々務めながら今日まで途切れることなく継承している上田家に伝来した、茶道具を中心とした流派の歴史を物語る道具類などで構成される。
文化財的価値について	本資料は、茶道上田宗簡流が近世広島の武家文化を象徴するものであり、現代まで伝承されてきた証となる歴史資料として広島文化史上価値が高く、日本茶道史研究にも寄与するものである。

茶道上田宗箇流関係資料 一覧

別紙

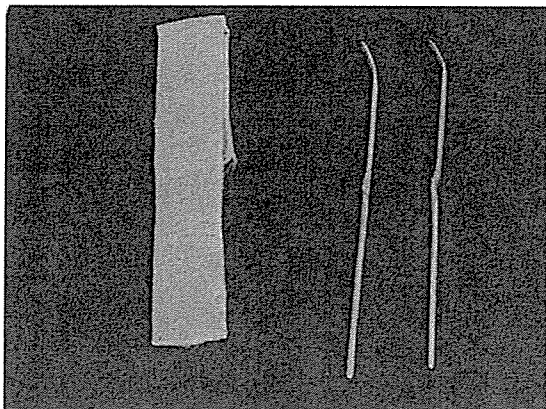
No	種類	名称	No	種類	名称
1	絵画	布袋図	42	金工	鎖
2	絵画	漁釣（風俗）図	43	金工	古銅獅子香炉
3	絵画	牧牛図	44	金工	古銅輪耳花活
4	絵画	墨梅図	45	金工	刀 銘 濃州住兼常
5	絵画	鶴図	46	金工	脇差 無名
6	絵画	牛図	47	金工	刀 摺上無名
7	絵画	達磨龍虎図	48	木竹工	竹茶杓 銘「敵がくれ」
8	絵画	樵羊図	49	木竹工	竹茶杓 共筒
9	絵画	寿老人鶴図	50	木竹工	竹茶杓 銘「ほまれ」
10	絵画	寿老人鶴図	51	木竹工	竹茶杓 銘「ニチウエダ」共筒
11	絵画	鮎図	52	木竹工	竹茶杓 追銘「松風」
12	絵画	山水図	53	木竹工	竹一重切花生
13	絵画	風濤図	54	木竹工	竹一重切花生
14	絵画	山水図	55	木竹工	竹二重切花生
15	絵画	老子騎牛・伯夷叔斉図	56	木竹工	竹二重切花生 銘「長春」
16	絵画	達磨雁図	57	木竹工	桶型菜籠（炉用）
17	絵画	梅花鶯図	58	木竹工	桶型菜籠（風炉用）
18	絵画	鍾馗図	59	木竹工	袋棚
19	絵画	馬之図	60	書跡	一行書「門無俗士駕」
20	絵画	船人図	61	書跡	蘭亭記
21	陶磁器	唐物大海茶入 銘「上田大海」	62	書跡	竹隠号の偈
22	陶磁器	利休瀬戸肩衝茶入	63	書跡	送別の偈
23	陶磁器	古萩茶碗 銘「ひろしま」大	64	書跡	桜の和歌「登しを」
24	陶磁器	古萩茶碗 銘「ひろしま」小	65	書跡	自詠句
25	陶磁器	織部杢形茶碗	66	古文書	浅野長政書状 野々口宛
26	陶磁器	備前耳付水指	67	古文書	浅野孫左衛門文 古田織部宛
27	陶磁器	備前耳付水指	68	古文書	大蔵卿局書状 上田宗箇宛
28	陶磁器	南蛮水指	69	古文書	池田光政書状 上田主水宛
29	陶磁器	呂宋清香茶壺 銘「清香」	70	古文書	上田宗箇書状 寺西将監宛
30	陶磁器	禾目天目（建盞）	71	石造物	織部灯籠
31	染織	黒羅紗地陣羽織	72	石造物	手水鉢「心徑苔生」
32	染織	名物裂「宗箇風通」	73	石造物	手水鉢「吉祥天」
33	染織	名物裂「蜀紅錦」	74	石造物	手水鉢（立踳）
34	染織	白地釘貫三階菱紋陣羽織	75	石造物	ほら貝の石
35	漆工	蒟醬八角茶入	76	石造物	手水鉢 明一字
36	漆工	荒目真塗小板	77	石造物	釜山海手水鉢
37	漆工	蒔絵香盆	78	石造物	青石庭石
38	金工	瓜形尾垂釜	79	その他茶道具	荷い茶屋
39	金工	阿弥陀堂釜	80	その他茶道具	皆具一式
40	金工	佐波理風炉	81	その他茶道具	羽箒
41	金工	銅蟲九輪風炉	82	その他茶道具	羽箒



26 備前耳付水指



38 瓜形尾垂釜



48 竹茶杓 銘「敵がくれ」



56 竹二重切花生 銘「長春」

(参 考)

市 域 内 指 定 文 化 財 件 数

区 分		国指定	県指定	市指定	計
有形文化財	建造物	8 (国宝1含む)	1	16(14)	25(23)
	美術工芸品	10	11	58(56)	79(77)
無形文化財		—	1	—	1
民俗文化財	有形民俗文化財	1	—	—	1
	無形民俗文化財	—	2	7	9
記念物	史 跡	5	14	6	25
	名 勝	2	1	—	3
	天然記念物	1	5	20	26
計		27	35	107(103)	169(165)

() 内は今回指定前の数